



# 明治150年 米の流通に関するアーカイブ

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリ

政策

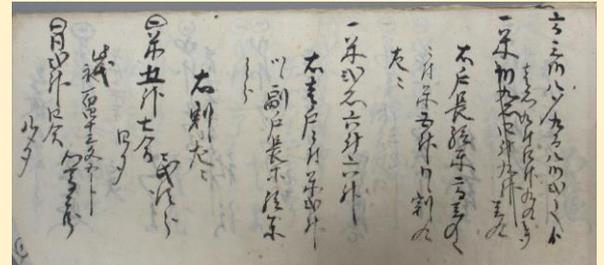
【種別】 横帳  
【資料名】 壬申村吏給米割元帳  
【巻次】  
【副題】  
【記録年】  
【刊行年】 明治5年  
【編著者】 二関村副戸長  
【出版所】  
【寸法】 縦31.5cm 横13.5cm 13丁

## 【略説明】

当時の二関村(現 一関市)の村役人の給与として支給された米の台帳。江戸期には米による現物支給が行われていた官吏の給与であるが、維新による制度改革により、明治期には現金支給に切り替わった。その一方で、明治初期には未だ米による現物支給が行われていたことがわかる。



史料の所蔵元である一関市博物館は岩手県南地域の歴史に関する史料や日本刀の起源の一つとされる舞草刀を中心とした刀剣などを収集・展示しており、市民の生涯学習の場としても利用されている。また同博物館では、蘭学において優れた人材を数多く輩出し、和算が農民にまで浸透していた旧一関藩の伝統を継承するため、郷土の蘭学者に関する展示や和算の普及にも力を入れている。



【所蔵機関】 一関市博物館  
【住所】 岩手県一関市巖美町字沖野々215番地1  
【連絡先電話番号】 0191-29-3180  
【所蔵先URL】 <https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>  
【閲覧】 要申請

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)  
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、  
年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日あり。  
入館料：(個人)大人 300円、大学生・高校生 200円、  
中学生以下・65歳以上の一関市民・障がい者とその介護者は無料。  
※特別展は別料金。